

地域まちづくり実施計画(案)		地域まちづくり基本計画(案)	
事業内容	事業計画案	まちづくり活動	まちづくり目標と成果指標
市バリアフリー化計画に併せ、高齢者、障がい者も安心して、通行できる環境づくりの具体策を検討、具現化する。	25バリアフリー化支援活動	19高齢者、障がい者も安心して通行できる交通環境づくりの推進	7 生活しやすい交通環境ができています ◆コメント：小田急線を挟んでの東西交通の不便さや交通不便地区の解消を進行できるバリアフリーな道をつくり、生活しやすい交通環境を整えます。 ●成果指標：①誰にも歩きやすい道路である、②道路や踏切が通行するのに危ない、③外出しやすいい道路や交通機関である、と感じている人の割合
踏み切りの問題は、長年の課題で、改善の進捗が全くない。道路建設コンサルタントを活用して踏み切りの具体的な改造提案をして進捗を図る。	26踏み切り安全対策事業	20交通の利便性と安全性の充実	8 市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち ◆コメント：地域の拠り所となる市民センターの早期建設を推進し、地域の望む多様なサービスを提供できる拠点とします。 ●成果指標：多機能な市民センターを身近に感じている人の割合
六会地区内には西侯野地区などバス等公共交通機関も無く、駅に出るのに、徒歩での移動手段しかない無い地域がある。高齢化社会の進展に配慮し、特に駅、病院等に気軽に出行けるよう、新たな交通手段の検討が必要と考え、その検討を進める。	27交通不便地区解消検討事業	21市民センターを中心とした多機能化の推進	9 住んでいることを自慢できるまち ◆コメント：地域の人ひとりひとりがまちづくりの主役です。住んでよかった、いつまでも住み続けたい六会の方にします。 ●成果指標：六会を自慢できる人の割合
老朽化した市民センターの改築に合わせ、これまでの行政の出先機関としての市民センターから地域主体のまちづくりの拠点施設として地域の特性やニーズに対応した多機能で市民の様々な活動が展開される新たな市民センターを構築する。	28市民センター多機能化事業	22公共資産の有効活用の推進	8 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カールチャール」の創出
利用上、不便・不備な事項の調査、解決の可否を検討し、市民の家運営委員長と協力して解決する。	29市民の家利用率向上活動	23地域活動情報発信の充実	さらなる可能性を追求する創造発信都市
六会地区地域経営会議をはじめ地域10団体では、地域情報や活動状況を広く市民に公開するためのホームページ作りを進めている。これらのホームページの情報を各団体で組織する運営委員会が、ポータルサイトとして、管理運営することで、情報提供者と利用者の双方にとって利便性が高い情報発信手段として充実させることができる。	30地域ポータルサイト充実事業	24地区内団体との連携をベースにした地域経営会議の充実	■ 都市ビジョン3
六会地区で進めるまちづくり活動の多くは、自治会や地域市民団体が関係している。地域まちづくり活動を効果的に進めるためには、これらの団体と連携が不可欠であることから、地域経営会議が六会地区自治会連合会と協議して、呼びかけを行う。	31地区団体交流連携事業		



【六会地区地域経営会議まちづくり計画策定部会】

お知らせ

地域経営会議定例会は傍聴できます。
これからの定例会の開催日程(予定)は次のとおりです。
11月11日(木) 12月9日(木) 1月13日(木) 2月10日(木) 3月10日(木)
開始時間は18時30分からです。
※都合により変更する場合がありますので、傍聴にお出でになるときは、事前に事務局へご確認ください。